学校番号	1201

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）国語発展演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	「基礎現代文　大学入学共通テスト対策新装版　解答書冊子タイプ」（尚文出版） 「読解現代文必携　キーワードの卵」（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目は、語彙や文章作成の力を身につけるための科目です。
・小テストや発表など、積極的に授業へ参加することが求められます。
・指示された予習や出された課題は必ず行いましょう。
・提出物の期限は必ず守りましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・学術的な文章で用いられる抽象度の高い語彙や専門用語の概念を正確に理解するための知識を習得する。
・未知の語彙に出会った際、文脈全体からその意味を正確に推測できる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・複雑な議論の前提、結論、論拠を明確に識別し、その論理的な関係性を分析できる思考力・判断力を育てる。
・自身の意見や考えを、論拠をもって論理的かつ適切な語彙を用いて効果的に表現する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
・さまざまな文学作品や評論文の読解を通して、言葉の奥深さや表現の豊かさに触れ、知的探究心を育む。また、未知の事柄や未解明のテーマに対して積極的に学びを深めようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	いろいろなジャンルの文章を読み、その内容について論理的に思考・判断することができている。また、課題や設問に応じて、自分の考えを適切な言葉で表現することができている。	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	・現代文でよく用いられるキーワード(漢字、慣用句等)について、書き取りや作文を行う。 ・評論、小説、随筆それぞれのジャンルの文章を扱い、論理的に文章を読解する練習を行う。 ［教材］ 「キーワードの卵」第26～35回 「基礎現代文」第1～8回	a:社会生活や日常の中で用いられる基礎的なキーワードについて、その意味を理解し、また、読み書きを行うことができている。 b[読]:各ジャンルの文章を読み、その内容について論理的に考え、情報を取捨選択することができている。 c:文章読解の中で、筆者の見解や、未知の分野の用語や考え方について、積極的に関心を持とうとしている。	テキスト点検 定期考査 小テスト	テキスト点検 定期考査	行動観察 振り返りシート
2学期	・現代文のキーワードについて書き取りや作文を行い、さらに自分の語彙を増やす。 ・各ジャンルの文章をさらに読み、文章全体の内容や論理展開を構造的に把握できるようにする。 ［教材］ 「キーワードの卵」第36～45回 「基礎現代文」第9～16回	a:文学作品や思想・哲学等の分野で頻出するキーワードについて、その意味を理解し、また、読み書きを行うことができている。 b[書]:設問の内容に応じて、自分の考えや解答を適切な言葉で表現することができている。 c:哲学、政治、経済等、さまざまなジャンルの文章を読み、各分野の専門的な概念や考え方について、より理解を深めようとしている。	テキスト点検 定期考査 小テスト	テキスト点検 定期考査	行動観察 振り返りシート
3学期	・現代文のキーワードについて書き取りや作文を行い、習得した語彙をより実践的・効果的に活用できるようにする。 ・発展的な内容の文章を扱い、論理的な読解や構造把握の精度をさらに高める。 ［教材］ 「キーワードの卵」第46～55回 「基礎現代文」第17～20回	a:文学・哲学等の分野で頻出するキーワードについてさらに学習し、また、学習した言葉を自分の語彙として効果的に用いることができている。 b[話／聞]:これまでに習得した語彙を効果的に用いて、自分の考えを表現できている。 c:文章読解の中で、内容について理解を深め、著者についてや内容に関連する事柄について積極的に学ぼうとしている。	テキスト点検 定期考査 小テスト	テキスト点検 定期考査	行動観察 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間